

## 女池校区コミュニティ協議会

第5号

発行日 平成28年1月6日

発行 女池校区コミュニティ協議会

会長 白根 慶治

TEL 025-285-6009



鳥屋野潟の白鳥 提供：小張木 王 育（ワン イ）さん



女池校区コミュニティ協議会会長 白根 慶治

あけましておめでとうございます



昨年の2月、「区長懇談会」において、市長に対して「全ての自治会、みんなでつながる署名、そして「マツタケ」の署名を添えて「多世代育成・交流“ふれあいの館”」建設を要望しました。残念にも未だに是非の回答がありません。が、昨年の秋、じばなつのき自治会の「好意」により「じばなつのき自治会館」を借用できました。

自治会の皆さん、そして「区地域課」の理解にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

- 活動の拠点として、隔月の役員会、毎月の部会、防災訓練の実行委員会等々「マツタケ事務所」として活用をさせて頂いています。

- 10月～11月、4ブロックの防災訓練は753名の参加、「自助」「互助」そして「公助」として、他の活動とも共通の訓練でもありました。

- 「地域包括ケアシステム」の学習会の開催。私たちのコミ協の目的“地域の絆”“支え合い・助け合い”が、行政と地域「事業団体」そして地域で活動する団体との連携・協働がより必要であり、求められる課題であります。

- 学校とのパートナーシップ活動を学校、PTAと連携をして取り組みました。

役員体制も“各自治会・民児協・PTA・スポーツ振興会・消防団等”参加で「4部会」構成で大いに議論し、そして活動にがんばりました。新年に決意して！

写真は女池コミ協事務所と役員会のメンバーです。  
よろしくお願ひします。



電話 025-288-5671

FAX 025-288-5681

この“女池コミ協だより”は新潟市の地域活動補助金を受けて発行しました。

## “縁” “支え合い” “助け合い” 各部会の取り組み

**地域包括ケアシステムとは**

平成27年10月21日（水）、ユニゾンプラザにおいて、地域包括ケアシステムの学習会を開催いたしました。平成29年度より介護制度の変更により新潟市が進める方向性を地域包括ケアシステムの参事仁田見浩さんを講師に迎え、地域で活動している自治会、民児協、老人クラブそして、介護事務所、NPO、区社協の皆さんに呼びかけ、学習会を開催。

今後とも私たちの地域で老若男女が楽しく安心して集える居場所作りを皆んなで取り組んで行きます。

**介護制度の変更**

介護度1、2の人たちは平成29年度の変更により、特別養護老人ホームに入所していくことになります。

- ・医療保険と介護保険の一体的な見直し。
- ・「介護」急増する介護費用と保険料の見直し。
- ・より多様な主体的なサービスの提供→介護予防の強化
- ・自宅での療養を望む人が多い（国の方針）

・民児協・コニ協の話し合い（区社協主催から抜粋）

①安心・安全な住みやすいまちに  
②みんなで声をかけあうまちに  
③三世代が地域に根ざすまちに  
④“縁”さまざま、助け合い、助け合い、皆で！  
こんなまち、地域を目指したい。

今年も継続して学習会を予定しています。



参加者もいづれ自分のことと真剣に聞き入る



## 地域包括ケアシステム学習会の開催

### 今年度の取り組み

## 女池っ子縁日に出店

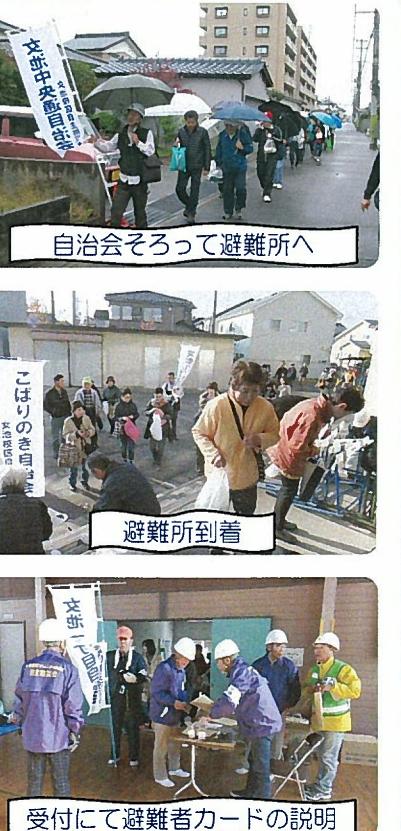
## “自助” “互助” “公助”

今年度の取り組みは、地域と行政・学校との連携を図り災害発生時における指定避難所への安全・迅速な誘導を実現し、円滑な避難所運営が行われることを目的に掲げての訓練が行われました。

10月25日（日）	Bプロック	女池小学校
11月8日（日）	Aプロック	紫竹山小学校
11月8日（日）	Cプロック	鳥屋野中学校
11月22日（日）	Dプロック	江南高等学校



### 避難所への安全誘導



### 訓練内容

- | 第一部                          | 第二部                      |
|------------------------------|--------------------------|
| 「避難所運営の必要性について」区総務課職員による防災講話 | 各自治会長は避難者人数・状況を避難者カードで掌握 |
| 避難所への安全誘導                    | 避難所設営訓練                  |
| ①非常食の炊出し                     | ②段ボール間仕切、ベット、簡易トイレの設営    |
| ③発電機・投光器の操作・取扱               | ④無線の交信体験                 |

### 避難所運営の必要性



### 段ボール間仕切、ベット、簡易トイレの設営



### 発電機・投光器の操作・取扱



### 非常食の炊出し



### 無線の交信体験



## 女池校区自主防災訓練の実施

# 地域の情報

消防団より

女池交番より

マイナンバー詐欺に注意!

他人のマイナンバーを見ザル  
自分のマイナンバーを言はザル  
他人のマイナンバーを聞かザル



市役所、警察などがマイナンバーに関して電話やメール、訪問することは絶対にありませんし、個人カードの手続きに関する費用は一切かかりません。

マイナンバーに関する次の電話やメール、訪問は、確実に詐欺です。個人カードは確実に保管し、詐欺の被害に遭わないよう注意してください。

詐欺の手口

- ・貴方のマイナンバーが漏れている。取り消しが必要になる。
- ・情報漏洩防止の為にセキュリティ費用がかかる。
- ・個人番号カードの申請には手続き上登録費用が発生する。回収に向いました。恵まれない〇〇〇を救うために寄付をしてほしい。マイナンバーを教えていただけるだけで寄付になるので教えていただけませんか。

**消防団に入隊して、地域を守りましょう！**

- ・私たち「鳥屋野分団」は『安全で安心をして暮らせる地域』を目指し、日々、防火、防災の訓練を行っています。また、防犯パトロール活動も行っています。
- ・入隊歓迎します。「年齢18～55歳」
- ・連絡先 鳥屋野分団事務所「堅田久利」

TEL 090-2320-5925

**笑病記**  
高木かおるさんから二回目の投稿をいただきました。  
私の病歴

（互助）お互い助け合う。地域コミュニティで職場で、患者会で、その他。

（公助）行政からの助成や援助。  
身体障害者になってみて、一番の問題点は公助にある。つまり、差別やイジメに会う人がいかに多いことか。大人のイジメは子どもの中より巧妙で、陰湿で、悪質なことが多い。県や市町村で、障害者差別禁止条例が出されているが、具体策が見えてこない。

見舞い客みんな医学の専門家  
病んで知る人の情けの裏表  
すみませんとありがとうで生きている  
八十歳ウグイス張がふえました

物質文化が発達すれば精神文明が衰えます。妻は認知症で五年前から施設に入所。以後独り暮らし。高齢病身の独り暮らしは大変です。それでも、病院や患者会のボランティアをしています。元気です。不思議はありません。

## 地域の方からの投稿

## 地域の活動の紹介

「二コ二コお茶の間神道寺オープン」



皆でスクワット体操を楽しんでいまーす

担当責任者 田村 泰之

地域包括ケアシステムの推進が叫ばれる中で、神道寺には地域の人たちが集つ集会場等の施設がなく、時代の流れに取り残されてしまうのではという危機感がありました。たまたま紫竹山小学校を訪れた折に、紫竹山第一ひまわりクラブの存在を知りました。地域の皆さんのご意見を確認した上で、行政、社協、小学校関係者の皆さんにご相談を申し上げ、自治会活動の場としてお許しいただくことができました。

その上で、地域の民生委員が中心となってお茶の間開設準備を整え、「二コ二コお茶の間神道寺」とネーミングし、漸く11月10日にオープンしたところです。たまたまマイナンバー通知カードが簡易書留便で届く直前でありましたので、市の担当者に来ていただき話をお聞きいたしました。会場一杯になるほど参加者に励まされ、今後の活動を後押しされた気持ちです。これらも二コ二コ笑顔でお茶の間に参加していました。